

子どもの居場所づくり事業

取り組みの概要

放課後や週休日などに小学校の特別教室や体育館等を活用し、児童に自由遊びを中心として、季節行事や工作・調理などの各種体験活動を提供するとともに、児童が異年齢や地域住民と交流することにより、社会性やコミュニケーション能力を育みます。平成25年度からは市内全小学校で実施しており、実施頻度は月1回から週2回、実施時間は1回につき1～3時間と地域の状況等によって異なります。

協働の きっかけ

ひとりっ子や共働き家庭の増加や家庭用ゲーム機の普及など、子どもの生活環境の変化により大勢で遊ぶ機会が減少し、集団行動やコミュニケーションが苦手な子どもが増加しています。そのため、地域住民や異年齢の児童と交流できる機会・場所が必要となりました。また、地域ボランティアが主体になることで、地域ぐるみの青少年健全育成を推進するための人材育成、地域の活性化を図り、地域の教育力の向上を目的としています。

学校地域連携課



地域住民（PTA等）、 NPO法人

強み

- ・地域ぐるみの青少年健全育成を推進するための人材育成、地域の活性化を図ることができる

役割

- ・実施校区の決定
- ・経費負担、保険加入手続き
- ・スタッフ研修の実施 など

- ・事業内容の企画
- ・実施当日のスタッフ配置、安全管理
- ・実施内容の報告

協働の 成果

・H27年度	実施回数	817回	参加者数	28,735人	(うち児童	22,834人	うち地域	5,901人)
・H28年度	実施回数	791回	参加者数	32,096人	(うち児童	25,199人	うち地域	6,897人)
・H29年度	実施回数	737回	参加者数	29,320人	(うち児童	22,413人	うち地域	6,907人)
・H30年度	実施回数	687回	参加者数	28,477人	(うち児童	22,017人	うち地域	6,460人)
・R1年度	実施回数	684回	参加者数	28,096人	(うち児童	21,223人	うち地域	6,873人)

協働のポイント

- コーディネーターやボランティアの後継者育成
- 子どもの居場所づくり事業活動の周知

【各機関の役割】

